

(再評価)

資料 1 - 6
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成20年度第4回)

国道17号 渋川西バイパス

平成21年3月18日
国土交通省 関東地方整備局

事業評価監視委員会 道路事業 位置図



1. 事業の目的と計画の概要

(1) 目的

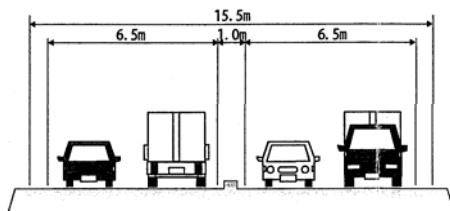
- ・上信自動車道の整備、促進

(2) 計画の概要

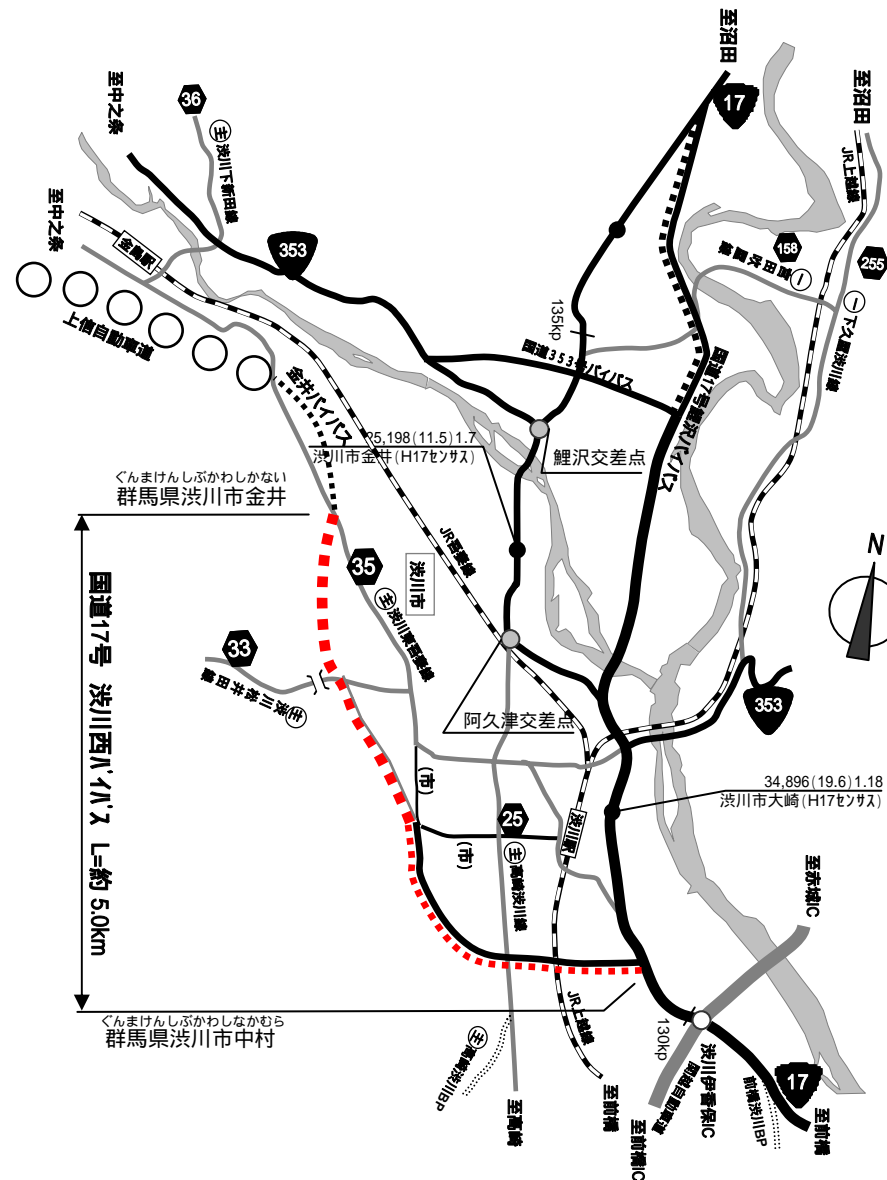
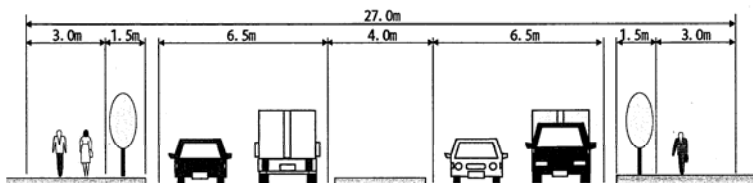
区 間： 自) 群馬県渋川市中村
くまけんしぶかわしなかわら
くまけんしぶかわしなかわら
 至) 群馬県渋川市金井
 計画延長： L=5.0km
 幅員： W=15.5～27.0m
 道路企画： 第3種第2級
 設計速度： 60km/h
 車線数： 4車線
 事業化： 平成16年度着工準備
 事業費： 約90億円
 計画交通量： 23,500～31,800台/日

標準横断面

バイパス新設区間

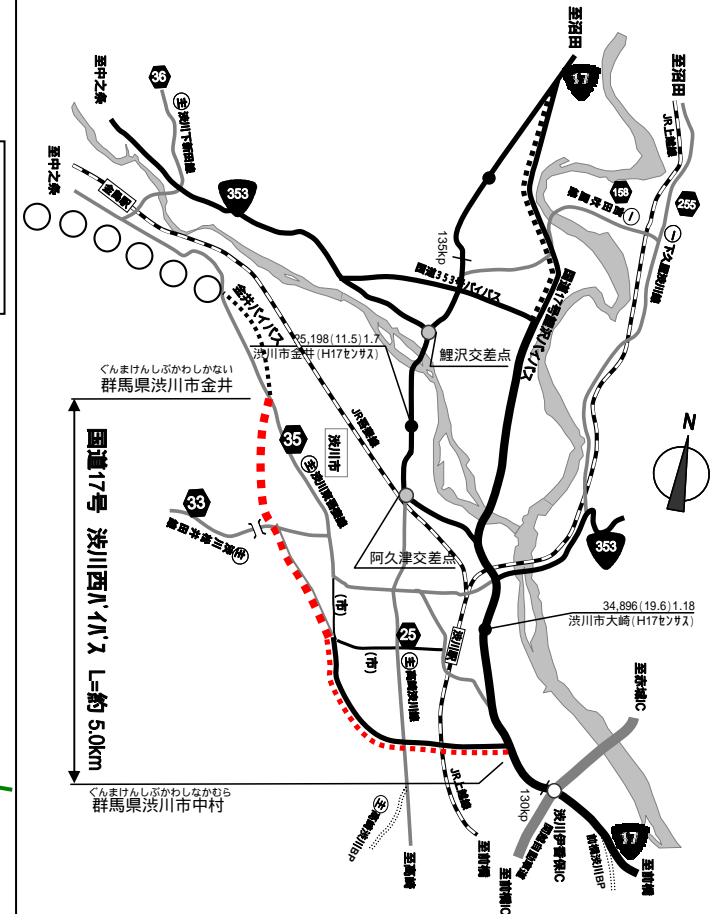
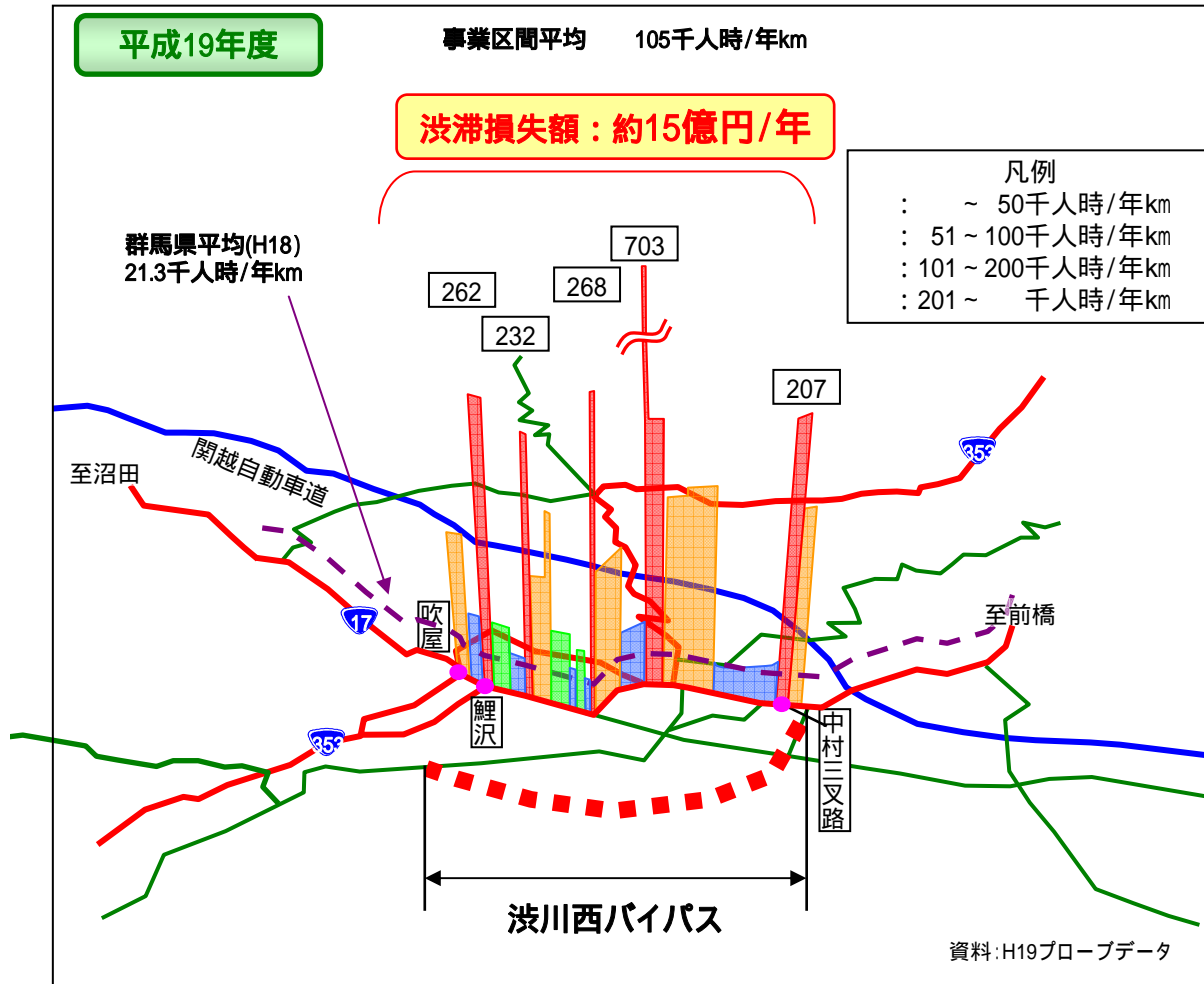


現道活用区間



2 - 1 . 事業の必要性に関する視点

・渋川市の中心部では混雑している区間が存在し、渋滞損失額は年間約15億円。



2 - 2 . 事業の必要性に関する視点

・上信自動車道（渋川西バイパス）の整備によって、台風・大雨による通行規制時の代替路線を確保。

平成19年9月6日の台風により国道145号は通行規制になり、また周辺の道路も通行止めとなったため吾妻地区は一次孤立状態となった。また、群馬から長野県へ向かうルートはすべて通行止めとなった。
 (渋川西バイパス) 上信自動車道が整備されることにより規制区間が解消。新たな長野への迂回ルートが確保される。



上信自動車道の整備により新たな迂回路が整備

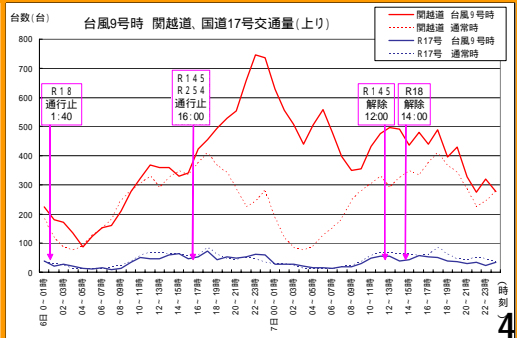
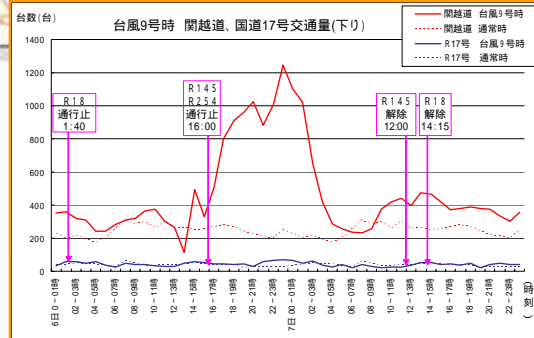
約50km (50分の短縮)

国道145号 通行止めで吾妻分断

吾妻の東部と西部を直結する、軽井沢方面から吾妻街道、国道145号は、吾妻地区の主要な交通路。この国道145号が通行止めになると、吾妻地区は一次孤立状態となる。このため、吾妻地区の交通確保が重要となる。このため、吾妻地区の交通確保が重要となる。このため、吾妻地区の交通確保が重要となる。



台風9号時迂回路（三国峠）通過台数



2 - 3 . 事業の必要性に関する視点

- ・上信自動車道(渋川西バイパス)は、群馬県及び長野県を結ぶ地域高規格道路に指定されており、地域の活性化・観光客誘致を支援する道路。
- ・群馬県が推進する「はばたけ群馬・県土整備プラン」において、7つの交通軸の1つに上信自動車道が位置付けられている。



草津温泉

- ・ 渋川伊香保IC ~ 草津温泉間の移動時間が短縮 **90分** → **60分**
(H17センサス)
- ・ 草津町の観光入込客数 **年間約45万人増**
- ・ キャベツ即日販売圏域 **約200万人増**
(5時間到達圏域)



嬬恋村キャベツ

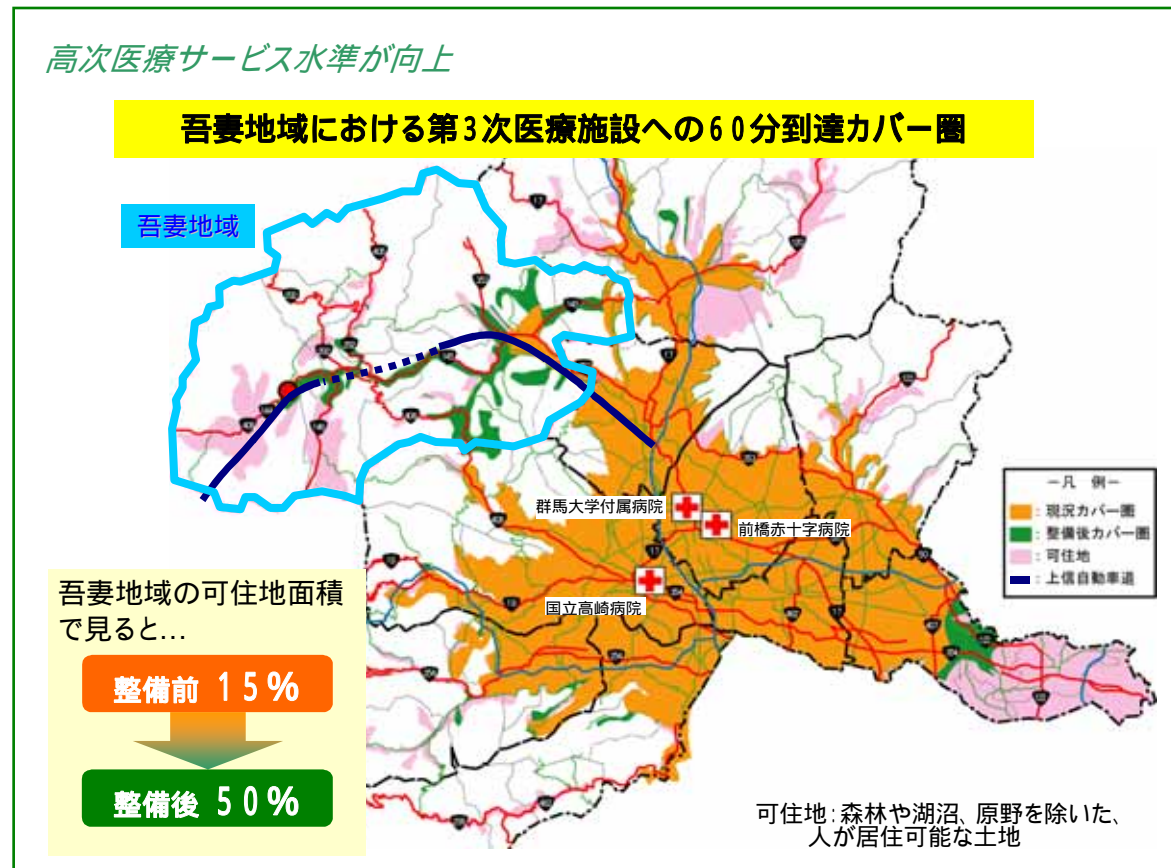


ぐんまがはばたくための7つの交通軸構想



2 - 4 . 事業の必要性に関する視点

- ・上信自動車道(渋川西バイパス)の整備によって、前橋市周辺に集中する第3次医療施設への60分到達カバー圏が拡大し、吾妻地域における緊急医療への支援が大幅に向上。



3. 費用対効果

事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B / C)
	172億円	9億円	16億円	196億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	64億円		12億円	76億円	

残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B / C)
	172億円	9億円	16億円	196億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	61億円		12億円	73億円	

注1) 費用及び便益額は整数止めとする。

注2) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

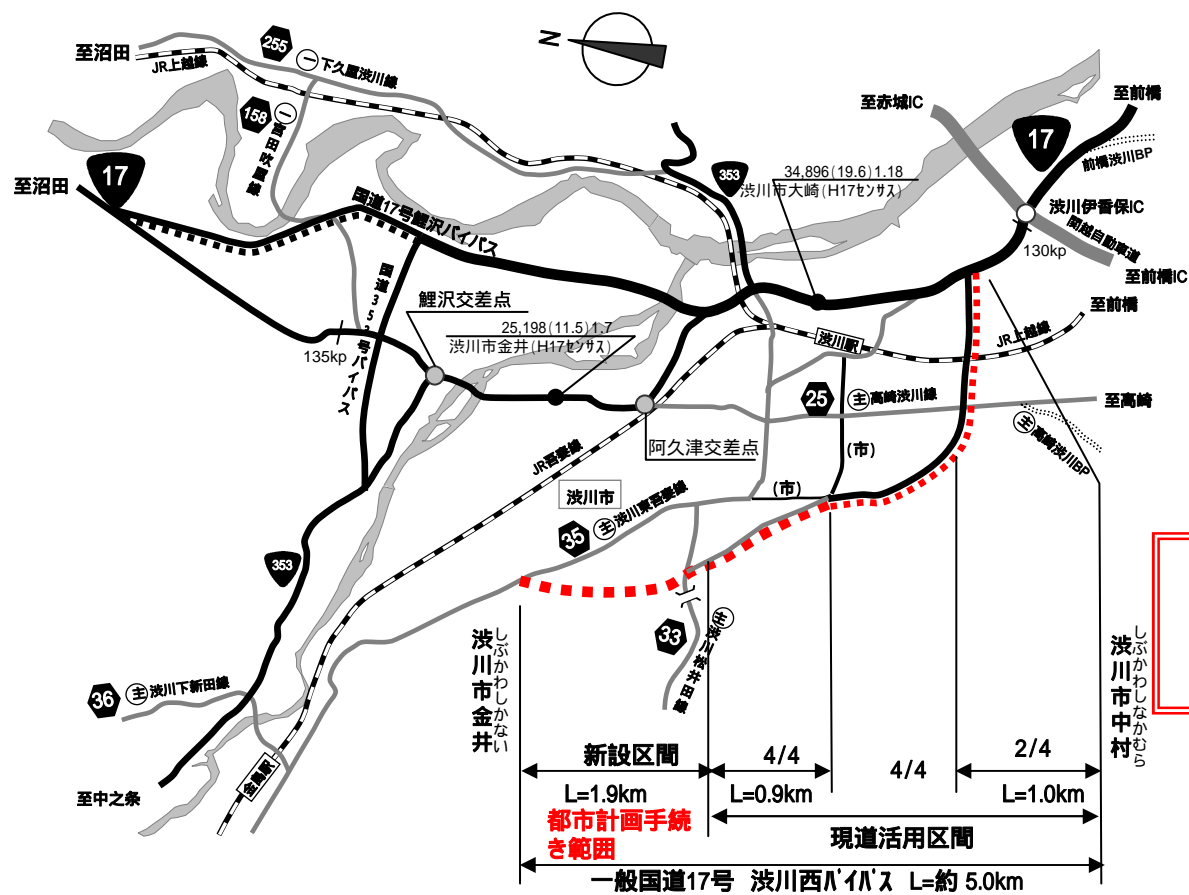
注3) 便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

基準年：平成20年度

4 . 事業進捗の見込みの視点

・渋川西バイパスの経緯

H6.12	上信自動車道計画路線指定	H20年度	都市計画手続き
H16年3月	整備区間決定・着工準備	H21年度	都市計画決定予定
H16～19年度	道路設計、環境調査		



用地取得率:0%
(事業化区間5.0km
での面積ベース)

4 . 事業進捗の見込みの視点

		整備 区間 決定	着 工 準 備	環 境 調 査	道 路 予 備 設 計	都 計 関 係 資 料 作 成	都 計 依 頼 申 請	都 市 計 画 決 定 (<small>予定</small>)	区 間 工 事 着 手	用 地 着 手
	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23 ~
調査 設計										
都計 手続										
用地										
工事										

5. 今後の対応方針(原案)

(1) 事業の必要性等に関する視点

- 渋川西バイパスは、地域高規格道路「上信自動車道」の一部区間で、吾妻地域の活性化・防災機能の向上・緊急医療への支援等に寄与する道路。
- 群馬県「はばたけ群馬・県土整備プラン」において、7つの交通軸が計画され、上信自動車道がその1つに位置付けられている。
- 費用対効果(B/C)は2.6である。

(2) 事業進捗の見込みの視点

- 新設区間は、現在都市計画決定手続き中であり、関係機関と調整が進めている。
- 現道活用区間のうち、暫定供用区間は用地が確保されており、事業着手後速やかに工事着手することができる。
- 都市計画決定手続きを早急に進め早期事業着工を目指す。

(3) 対応方針(原案)

事業継続

事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。